



第42号
(発行所)
 真宗大谷派
 松岡山 廣讚寺
 中村区城屋敷町3-30
 TEL (052) 411-5301
 FAX (052) 411-5341
 携帯 090-1568-4623
 E-mail:kousan-temple
 @trad.ocn.ne.jp

夏の常任委員会の報告

去る八月七日猛暑で境内では蟬せみしぐれの降りしきる中、三十数人の出席を得まして、活発な意見が交わされ以下の事柄が決定いたしました。

① 枝打ち、庭掃除、九月十一日八時より十二時。

おとぎ後、解散。

② 秋季永代経九月二十三日、おつとめ十時と一時。

おとぎあり。講員の追悼会施行。

③ 廣讚寺講費二千五百円の集金。

九月中に地区担当者がお伺いします。

④ 報恩講の説教師の変更。

本澄寺明仁師は長い間お世話になりましたが、今回からは前任職四十九日法要の説教師勅使英照師にお願いすることといたしました。

⑤ 五月の復興永代経は毎年第二日曜日に変更します。

● なお、五月と報恩講のうなぎ料理は価格・手間等考えた末、取りやめることにしました。
 その代わり報恩講の最終日にご苦労さんの意味をこめて食事を予定しています。

● 新任職・そしてかわいいお子さま、暖のん乃ちゃんのの誕生もあって、廣讚寺の未来はとても明るい光が差してきました。今後とも皆さま方の絶大なるご理解、ご協力を心からお願い申し上げます。

総代 秋田芳廣



阿弥陀経に

高弟子第七番

周利槃陀伽しゅりはんたか

伊藤和美

この人は、兄のマハーバンダカが出家し、そののち周利槃陀伽が出家した。兄は頭のすぐれた人で、出家してすぐさとりを開き、弟子の中でも大事な位置におられました。兄に比べ周利槃陀伽は頭がにぶく何一つ、一度で覚える事はできない。初めのうちは兄がいろいろとかばってくれた。その兄もついにあきらめ、お前はとても見込みがない。家に帰れと言った。

そこへお釈迦様が来られ、悲しみにくれる周利槃陀伽にどうしたと尋ねられた。そしたら私ほど愚か者はいません。自分が情けない。聞かれたお釈迦様は、お前は決して愚か者でない。自分の愚かさを知っている。自分の愚かさを知らない者は真の愚か者だ。お前は他の事を考えなくてよい。この箒(ほうき)で毎日掃除をしなさい。この時に必ず「ちりを払え垢あかを除け」とこの言葉を繰り返すがよいと教えた。

この人は、愚かな面がありましたが、きちょうめんで義理がたく、約束は必ず守り実行された。お釈迦様が見てなくても一生懸命掃除された。そして私の心の垢を除くことだと考え、これが仏道修行の一つだと考え、愚かな周利槃陀伽のもだえも消え、この世の迷いは垢である、智慧は心の箒だ、素直に自分の愚かさを気づいた人です。多くのお釈迦様の弟子の中で、周利槃陀伽は義理がたく、言われた事を守る人だ。義理第一と人々は言う。

つづく

ご命日の集(20組行事)に参加して

釈 緯智

七月二十日午後から西光寺であった。講師は名古屋大谷高の生田先生いくたである。三年目を迎える連続講座の最後の年にあたる。今日のテーマは「帰洛Ⅱ私の仕事は何ですか」であった。当時六十歳で、しかも関東から京都へという長旅をされた訳と、どんな方法で京に帰られたのか興味をわいた。

念仏停止などの法難はたびたびあったが、師の法然上人の墓があげられたり「選択集」の版木が比叡山延暦寺で焼かれたこと、その上ともあろうに念仏の同朋が悪人正機（歎異抄）を誤解して平気で悪行をやったこと。

この二つは親鸞聖人にはとてもほっておけない、つらいことではなかったか。帰洛の決心はこれではないかと…。

六十歳代の一二三〇年ごろから急に著作品が多くなるのがよくわかる。また、帰途で泊まった箱根の権現の夢告で有名な萬福寺や三河（岡崎）の妙源寺が資料で示された。ちょうど七月十九日の中日新聞に勝蓮寺で紹介されていたのに気付く。柳の下の説法を聖人がなされた寺は複数ある由。

最後に全員で読んだ資料が面白かったが、難解でした。関東で多くの人のつながりの中に「自信教人信」という法楽をかみしめ…：聖人はその風土の中で「信心の行者には、天神地祇も敬伏し、魔界外道（仏教以外の教え—ここでは神様が中心）も障碍することなし」つまり我々凡夫は、各地の神々の信仰もせずにはおれないとい

うことである。聖人が若いころ、外道では救われたいと言われたことが、越後から関東での約二十年の間に民衆と共に生活、修行されて、価値観の大変革をされたことである。頭で考えているだけではだめで、その中に自分の身を置いてこそ真の宗（念仏の教）がわかってくるのだと教えられた。たんなる経験論ではないが、私にはとても難しそう。

自信教人信がまだわからん。今は亡き老僧が、聞法をよくせよということが頭をよぎる。



平成22年度廣讚寺講決算報告

収入の部	支出の部
前年度繰越金 66,200円	火災共済 42,880円
廣讚寺講費 ^{223%} 557,500円	建更共済 341,000円
貯金利息 149円	樹木剪定 168,500円
	次年度繰越金 71,469円
計 623,849円	計 623,849円

上記の通り相違ありません。

平成23年8月

会 計 秋 田 芳 廣 

行事予定

九月十日(土) 七時半 同朋会(役員は七時)

十一日(日) 八時 庭そうじ
(昼おとぎ後、解散)

十九日(祝) 二時～四時 学習会

二十三日(祝) 十時 秋季彼岸会
説教 廣瀬純史師

廣讚寺講総会
おかみそり

二十四日(土)

二十五日(日) 三時 彼岸お勤め

二十六日(月) 住職説教

二十八日(水) 十時 二十八日講総会

十月八日(土) 七時半 同朋委員会・例会
(役員は七時)

十九日(水) 二時～四時 学習会

二十八日(金) 十時 二十八日講・女人講